

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月17日

協議会名： 高知市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社さくらハイヤー	鏡地域デマンド型乗合タクシー(区域運行)	地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取を行った上で、現状維持で事業を継続することとした。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	A 利用者が着実に増え、目標である年間1,122人(94人/月)に対し、実績は年間2,008人(167人/月)となった。H29年10月に鳥越バス停まで延伸し、市中心地へ行きやすくなったことの周知が進み、鳥越バス停発着便の年間利用者数が、H30年度と比較して、645人から1,078人へと大幅に増加した。	今後もよりよい地域公共交通を目指し、利用者や事業者に聞き取りを行うなど、利便性向上に向け協議していく。
株式会社第二さくら交通	土佐山地域デマンド型乗合タクシー(区域運行)	地域の会や地域公共交通会議にて事業の状況報告・意見聴取を行った上で、現状維持で事業を継続することとした。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	A 利用者が着実に増え、目標である年間953人(79人/月)に対し、実績は年間2,207人(184人/月)となった。H30年10月から地域の診療所の患者送迎バスと、地域の土佐山学舎のスクールバスをデマンドタクシーへ集約したことや、運行事業者が地域内に営業所を開設したことにより、より便利で効率的な運行が可能となり、利用者が増加した。 なお、土佐山学舎の通学便は、地域間幹線バス系統との乗り継ぎを想定していない運行ダイヤとなっているため、計画運行回数、利用者数の目標値及び実績値からは除外している。 (※令和元年度の土佐山学舎通学便の利用者は6,980人であった。)	R2年4月から地域の健康福祉センター利用者の送迎機能をデマンドタクシーへ集約する。今後もよりよい地域公共交通を目指し、利用者や事業者に聞き取りを行うなど、利便性向上に向け協議していく。